

2018年 院内伝達講習（7/31、8/9、8/20、8/31）のご報告

「足関節・足部に対する機能解剖学的運動療法」について

今年6月に外部研修に参加した内容の伝達講習会となっています。足関節、足部の機能解剖を再度学習し、超音波を使って、筋や軟部組織の動きを見ながら、触診や運動方法の学習を行いました。当初は1回で終了予定でしたが、内容が濃い為に、4回に分けての開催となりました。

7/31 1回目 業務終了後2時間開かれました。

- 1) 足部の解剖の確認
- 2) 超音波エコーの見方など



8/9 2回目 業務終了後

- 1) 足部（距腿関節）前方の解剖確認
- 2) 前脛骨筋・長母趾屈筋へのアプローチ方法、脛腓間関節の運動・解剖学



8/20 3回目

- 1) 下腿骨間膜の動きと治療について
- 2) アキレス腱の動きと治療について



8月31日（金） 最終回（4回目）

- 1) kager's fat pat の動きと治療について
- 2) 踵部脂肪体の動きと治療について



感想

今回、4回足部勉強会を受け、足部の機能解剖や運動学、リハビリテーションのトピックスである超音波の使用方法、臨床での活用法の勉強になりました。また、超音波を使用することで、各組織を視認することができ、普段の解剖の知識とのギャップや立体的な組織の把握、臨床でのアプローチの有用性などの再確認や知識の共有を行うことが出来ました。伝達講習会内で座学や実技、ディスカッションなど行うことが出来、より深く知識を得ることが出来ました。今後も足部解剖の知識を深めると共に超音波技術の習得を行い、臨床に活かして行きます。